



令和4年度 都立八王子西特別支援学校 学校経営計画

1 目指す学校

児童・生徒の人権を尊重し、一人一人に応じた専門的な知的障害教育を推進することにより、豊かな人間性や社会性を育み、地域社会の一員として自立と社会参加できる人材を育成する。

特別支援教育のセンター的機能を発揮し、地域との連携の中で、共生社会の実現に向けた理解啓発を推進し、児童・生徒の自立と社会参加・貢献を促進する。

校訓 自律自啓

教育理念

わかって動く 考えて動く 責任を果たす

【学校教育目標】

- 健康な身体と豊かな心をはぐくむ
- 個性を生かし、主体性をはぐくみ、生活する力を育てる
- 自ら考え、判断し、表現して行動する力を育てる
- 社会の一員として、働く意欲と自立する力を育てる
- 仲間を思いやり、仲間と協力する力を育てる

2 中期的目標と方策（令和2年度から令和4年度まで）

軸となる指導の方向性

本校が示す「わかる授業の4ベース」を取り入れることにより、授業に向かうベースを整えた上で、教科学習で知識・技能を教え、各教科等を合わせた指導で「態度の育成」を図る。

（1）目標

小学部・中学部・高等部普通科を設置する知的障害特別支援学校として、12年間の教育活動の接続を図り、児童・生徒が地域社会の中で自立し、社会参加・貢献できる態度の育成を図る。さらに、他校から中学部・高等部に入学する生徒に対しては、身に付けるべき態度の再構築を図る。さらに、自分の目指す進路先への就労を実現するため、さらに高レベルの態度の育成を図る。専門家連携による指導の充実を図り、八王子西特別支援学校における指導パッケージ【八西専門性スタンダード】を構築する。

(2) 方策

小学部・中学部・高等部の12年間で4年ごとに区切り、各ステップのねらいに応じた教育活動を接続することにより、主体的に学ぶ意欲と自立と社会参加・貢献を目指した態度の育成を図る。

専門家連携を強化し、指導における環境整備や教員の専門性向上に向けた授業研究や研修を充実する。

3 令和4年度の実行目標と方策

【目標】 ◆ 働くための「態度」の育成を軸とした「4-4-4」の取組

- ◆ 大人も子供も「わかって動く」「考えて動く」「責任を果たす」の実行
- ◆ 根拠に基づく専門性の向上と授業力の強化
- ◆ 八西 GIGA スクール構想による ICT を活用した授業づくりの推進
- ◆ 八西働き方改革推進プランに基づくライフ・ワーク・バランスの推進
- ◆ セクション制度による人材育成と組織貢献力の強化

【方策】

(1) 4-4-4 (4の区切りの実践) による「態度の育成」

- ① 指導をつなぐ研究授業を活用した他学部参観の実施 【❖教務・小中高つなぐPT/2回以上実施】
- ② 改訂した「態度の指導内容表」を活用した各教科等を合わせた指導の充実 【全教員/通年】

【4-4-4による態度指導の方策】

ステップ1 ……【小学部 第一学年から第四学年】

- (ア) 日常生活を通じた『わかって動く』態度の育成
- (イ) 集団の中で『わかって動く』態度の育成 (日常生活の指導)
- (ウ) 身近な役割活動の中で『わかって動く』態度の育成 (日常生活の指導)
- (エ) 役割活動が分かり『わかって動く 考えて動く』態度の育成 (生活単元学習)

ステップ2 ……【小学部 第五学年から中学部 第二学年】

- (オ) 短い見通しをもって役割を理解し『考えて動く』態度の育成 (生活単元学習)
- (カ) 役割を理解し『考えて動く』態度の育成 (生活単元学習)
- (キ) 役割を理解し『考えて動く』障害特性に応じたセル方式による作業学習の改善と態度の育成

ステップ3 ……【中学部 第三学年から高等部 第三学年】

(ク) ラインを意識し、自分自身の役割に『責任を果たす』態度の育成(作業学習)

(ケ) 中学部第三学年と高等部第一学年との協働作業による態度の育成

(コ) 中学部から高等部へ…教材ボックスの引継ぎと内容の見直し

【中学部第三学年担任・高等部第一学年担任】

(カ) 障害特性に応じたライン工程分析による作業学習の改善と態度の育成 【❖指導教諭/通年】

(キ) 高等部 トライアル作業による態度の再構築(作業学習) 【❖高等部作業部会/通年】

(ク) 作業学習を統括管理するプランニング事業部の運営 【❖高等部作業部会/通年】

(ケ) ビースマイルカフェを中心とした作業学習の横の連携 【❖高等部作業部会/通年】

(コ) 全ての作業種で行う統一化された手法による除菌清掃の実施 【❖高等部作業部会/通年】

(カ) 地域の企業と連携した作業学習の展開 【❖作業部会・地域理解啓発部/通年】

(2) 学校経営の軸を為す研究研修の充実と授業力向上

① 「八西新型コロナウイルス感染症予防ガイドライン」の遵守徹底による授業の実施 【全教員】

② 4ベースチェック表を活用した全員研究授業の実施 【一人一回】

③ 「一貫した指導のアプローチ」を貫く外部専門家を活用した専門性向上研修の実施
【❖外部専門家連携 PT/対象者・悉皆】

④ 学習指導要領の各学部・各段階に応じた教材整備(美術、認知の学習、社会性の学習)
【❖専門性スタンダード PT/通年】

⑤ PTA と連携した児童・生徒のための教材作成支援 【❖PTA 教材連携 PT/通年】

⑥ 態度の育成を軸にしたカリキュラムマネジメントの確立(3年計画の3年次)
【❖研究研修部・教務部・外部専門家連携 PT/通年】

⑦ 経営の軸となる公開研究会の全国への公開 【❖研究研修部/全教員】

⑧ 専門性を担保する八西専門性スタンダードの構築(指導・教材編)(3年計画の3年次)
【❖専門性スタンダード PT/通年】

(3) 専門家連携による教員の専門性の向上

① 言語機能アセスメント J-sKepアセスメント等による根拠に基づく指導の充実 【全教員/通年】

② 抽出型、観察型アセスメントとカンファレンスによる専門性の向上
【抽出型=小学部 第一学年・第二学年・中学部 第一学年・高等部 第一学年・転入生・新転任教員】
【観察型=全教員】

- ③ 観察型アセスメントによる学年内でのカンファレンスの実施 【❖外部専門家連携 PT/小中学部】
- ④ 言語機能アセスメントの理解を深めるための実践的な研修の実施 【❖外部専門家連携 PT/対象者・悉皆】
- ⑤ 観察型アセスメントの成果還元のための外部専門家だよりの発行 【❖外部専門家連携PT/年間6回以上】
- ⑥ 「手帳」による系統的なスケジュール指導 【❖小中高つなぐPT/通年】
【高等部Ⅱ類型・Ⅲ類型担任/通年】

(4) ICTを活用した教育活動の充実

- ① 知的障害の程度が重い児童・生徒のICT活用充実事業(研究指定校) 【❖CT授業推進PT/通年】
- ② デジタル教材による教材教具発表会の実施 【❖研究研修部/デジタル教材一人一教材】
- ③ 複数の教科を関連させたICT機器を取り入れた授業づくりの展開 【❖ICT授業推進PT/通年】
- ④ 作業療法士と連携した「朝の体操」/ICTを活用した日常生活の指導 【❖外部専門家連携PT/全教員】
- ⑤ 工業高校との連携開発による「八西アプリ」を活用したスケジュール指導の充実
【❖ICT授業推進PT/小中学部・高等部対称生徒/通年】
- ⑥ 工業高校との連携協定による「アプリ」の更なる開発と活用による授業づくり 【❖ ICT 授業推進 PT/通年】
- ⑦ 導入したアプリ ドロップトーク・ドロップタップの積極的な活用 【❖ ICT 授業推進 PT/通年】
- ⑧ 高等部における一人1台端末を用いた指導の充実 【❖ ICT 授業推進 PT/高等部 通年】
- ⑨ アナログからデジタルへ・・・手だてをつなぐ個に応じたICT機器の活用 【❖小中高つなぐPT/通年】
- ⑩ 手だてをつなぐ「手帳」や「ICT機器」の積極的な活用 【❖小中高つなぐPT/通年】
【高等部Ⅱ類型・Ⅲ類型担任/通年】
- ⑪ ICTを活用した学習・生活支援の充実 「魔法のプロジェクト 2021～魔法のMessure～」実践研究協力校
【高等部第一学年当該クラス/通年】
- ⑫ 学習支援クラウドサービス Teams を活用した教育活動の推進 【❖ICT部・主幹会】

(5) 12年間を貫く進路指導と職業教育の充実

- ① 小学部から就労を意識した企業による進路指導研修会の実施 【❖進路指導部/全教員・悉皆】
- ② 12年間を貫く進路指導について、保護者へのお便りや研修の充実 【❖進路指導部】
- ③ 12年間を貫く進路指導について、教員への理解啓発 【❖進路指導部/小中高各1回】
- ④ 主権者としての自覚を育む生徒会選挙による主権者教育の実施 【高等部 年間1回】
- ⑤ 高等部卒業学年のさらなる企業就労率の向上 【❖進路指導部・高等部第三学年担任】
- ⑥ 高等部内部進学生の企業就労率の向上 【❖進路指導部・高等部第三学年担任】
- ⑦ 希望する進路先実現に向け、企業就労希望者・福祉就労希望者に対する内定率の向上
【進路指導部・高等部第三学年担任/企業90%・福祉100%】

- ⑧ 高等部卒業生への継続的な定着支援 【❖進路指導部/通年】
- ⑨ 自立と社会参加を促す保護者向け進路便りの発行 【❖進路指導部/年間6回以上】
- ⑩ 指導教諭による模範授業の公開と校内及び他校への授業支援（作業学習） 【❖指導教諭/通年】

(5) 一人一人の障害特性に応じた安全指導・生活指導の充実

- ① 児童・生徒の通学を支援するスクールバスの安全な運行 【❖安全指導部/通年】
- ② 児童・生徒の自立と社会参加を目指した一人通学の一層の推進 【❖安全指導部/通年】
- ③ 児童・生徒の人権に配慮した適切な対応と人権研修の実施 【❖研究研修部/全教職員・悉皆】
- ④ 人権に配慮した掲示物などの環境整備と定期的な点検(チェックシートの実施) 【全教員 年間3回】
- ⑤ いじめ・体罰防止・自殺防止の徹底 【❖生活指導部/全教員通年】
- ⑥ SNS学校ルールを踏まえた警察や関係諸機関と連携した指導の徹底 【❖生活指導部/随時】
- ⑦ スクールカウンセラー等を活用した生徒指導(心のケア)・仕組作りとカウンセリングの実施
【❖生活指導部・外部専門家連携PT/通年】
- ⑧ 特別な対応が必要な児童・生徒に対する校内支援委員会の開催 【❖渉外支援部・校内支援委員会/随時】
- ⑨ 都の通知を踏まえ、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底した部活動の計画実施
【❖生活指導部/通年】

(6) 大規模災害に対応した防災教育の推進

- ① 「八西新型コロナウイルス感染症予防ガイドライン」に基づく避難訓練の実施
【❖生活指導部 /年間10回以上】
- ② 新型コロナウイルス感染症対策を講じた(宿泊)防災訓練の実施 【❖生活指導部 /中学部・高等部】
- ③ 大規模災害に対応するための防災スターターキットの活用訓練 【❖生活指導部/9月まで】
- ④ 保護者と連携し、一人一人の特性に応じた自助バックの配備 【❖生活指導部/全児童生徒】
- ⑤ 大規模災害を想定した学校危機管理マニュアルの点検 【❖生活指導部/6月中】
- ⑥ 首都直下地震等に対応した防災講演会の実施 【❖生活指導部/年間1回】
- ⑦ 校舎内外の危険個所の整備と安全点検・環境整備の徹底 【❖生活指導部・経営企画室/通年】
- ④ 技能主事と教員との連携による校舎内外の環境整備 【❖地域理解啓発部・経営企画室/通年】
【❖ICT部/Howe to 施設管理HPアップ 年5回以上】

【特別活動 その他】

(7) スポーツ・文化の成果発表と「学校2020レガシー」の構築

- ① 台湾仁武特殊教育学校との積極的な国際交流【海外学校間交流推進校】 【❖国際理解教育PT/通年】
- ③ コロナ対策を講じた文化祭『くわのみ祭』の計画実施 【❖教務部】

- ④ 八西オリジナルスポーツの開発と交流の計画(3年計画の3年次) 【❖オリジナルスポーツ開発PT/通年】
- ⑤ 「学校2020レガシー」構築による日本の伝統文化理解教育の推進 【❖オリパラ伝統文化レガシーPT/通年】
- ⑥ オリパラ文化事業による芸術教育の推進 【❖芸術教育推進PT/通年】
- ⑦ 美術展等の積極的な応募による児童・生徒の意欲の喚起 【❖芸術教育推進PT 美術科/通年】

(8) 特別支援教育のセンター的機能の充実と地域連携

- ① 八王子市教育委員会等の方針に基づく特別支援教育の推進 【❖渉外支援部/随時】
- ② コロナ禍における学校間交流の計画実施 【❖渉外支援部/通年】
- ③ 完成した「八西オリジナルスポーツ」を活用した学校間交流の計画
【❖渉外支援部・オリジナルスポーツ開発 PT/通年】
- ④ コロナ禍でのオンライン等を活用した副籍の計画実施 【❖渉外支援部/通年】
- ⑤ コロナ禍での間接交流の積極的な実施 【❖渉外支援部/通年】
- ⑥ 「八西新型コロナウイルス感染症予防ガイドライン」に基づく巡回相談の実施 【❖渉外支援部/通年】
- ⑦ 高等学校における積極的な巡回相談の実施 【❖渉外支援部/通年】
- ⑧ エリアネットワーク拠点校と連携した高等学校への支援 【❖渉外支援部/通年】
- ⑨ エリアネットワーク地区拠点校としての高等学校通級指導における支援
【❖渉外支援部・高校通級推進 PT/通年】
- ⑩ ビースマイルカフェを活用した地域・関係機関への展開 【❖高等部作業部会・地域理解啓発部/通年】
- ⑪ 学校開放事業を通じた地域との連携 【❖学校開放事業委員会】

(9) 安心・安全な学校保健体制と給食の提供

- ① 「八西新型コロナウイルス感染症予防ガイドライン」遵守徹底 【❖主幹会/ 通年】
- ② 学校保健安全計画に基づく個別・集団に向けた保健管理・保健教育の充実 【❖養護教諭/通年】
- ③ 保護者や医療機関との連携による適切なアレルギー対応 【❖養護教諭/通年】
- ④ エピペンを活用した教職員向けアレルギー対応研修の実施 【❖養護教諭・研修年1回・悉皆】
- ⑤ 豊かな食生活を目指した栄養士と連携による食育の推進 【❖生活指導部・栄養士】
- ⑥ 安全で適正に提供するための形態食の検討(3年計画の3年次) 【❖形態食検討委員会】
- ⑦ 医療的ケア実施に向けた体制整備 【❖医療的ケア安全委員会】

(10) 保護者や地域、関係機関等へのタイムリーな情報発信

- ① HPによる最新情報の積極的な更新 【❖ICT部/通年 更新 300 回以上】
- ② 軸となる教育活動を配信する学校日記の更なる充実 【❖ICT部/更新回数 80 回以上】
- ③ 栄養士と連携した学校給食の配信 【❖ICT部・経営企画室/通年】
- ④ 学校紹介動画の更新、学校紹介等パンフレットの作成と活用 【❖学校広報PT/通年】
- ⑤ 経営企画室による保護者への情報発信 【❖ICT部・経営企画室/通年】

(11) 学校運営・組織体制

- ① マネジメントシートの活用とセクション長による業務管理 【❖分掌主任・セクション長/通年】
- ② 学校経営計画実現に向けた学部運営会議の充実 【❖学部主任・副主任・学年主任・進路主任/随時】
- ③ 学部運営会議・セクション制度による主任教諭等の人材育成
- ④ 組織運営力強化のための主幹会の内容の充実 【❖主幹会/通年】
- ⑤ 学校課題の洗い出しと課題解決のための主幹会(戦略会議)の実施 【❖主幹会/通年】
- ⑥ 企画調整会議の効率的な実施 【❖企画調整会議/週1回 30 分以内】
- ⑦ 個人情報紛失防止の徹底 【クリーンデスク・クリーンルーム・月1回】
- ⑧ 服務事故ゼロに向けた副校長による研修の徹底 【年 10 回以上】
- ⑨ 八西情報セキュリティ基準の随時改訂による基準の遵守 【全教職員/通年】
- ⑩ 八西 DX・くわっこ貸出システムを活用した端末の適正管理 【❖ICT 部/通年】
- ⑪ 八西 DX・オンライン会議ツールを用いた会議によるペーパーレス化の徹底 【全教職員/通年】
- ⑫ 八西 DX・さらなるペーパーレス化によるコスト削減と業務の効率化 【❖主幹会・経営企画室/全教職員/通年】
- ⑬ コスト意識を高め適正な自律経営予算の策定と執行 【経営企画室/通年】
- ⑭ PDCAサイクルによる自律的・継続的改善に資する学校評価の更なる改善 【❖教務部・主幹会/通年】
- ⑮ 学習支援クラウドサービス Teams を活用した学校評価アンケートの実施 【❖教務部・ICT 部】
- ⑯ 別に定める『八西働き方改革推進プラン』による効率的な業務推進 【❖主幹会・全教職員/通年】
- ⑰ 別に定める『八西働き方改革推進プラン』によるライフ・ワーク・バランスの推進 【全教職員/通年】
- 【年休 15 日以上取得・月1回の定時退庁の促進・定時外在校時間月 45 時間以内】
- ⑱ 産業医を活用した教員の健康増進と安全衛生委員会の充実 【❖安全衛生委員会/年 11 回開催】
- ⑲ 「服装規定 ドレスコード」の改訂と遵守徹底 【❖ドレスコードPT/通年】
- ⑳ ロールモデルとなる教職員として『わかって動く・考えて動く・責任を果たす』の実行 【全教職員/通年】
- ㉑ ロールモデルとなる教職員として学校窓口業務等、外部への丁寧な対応(電話を含む) 【経営企画室・全教職員/通年】